

ごあいさつ

平素より、美麻小中学校の教育にご理解とご支援を賜りありがとうございます。ごさいます。

美麻小中学校は、昭和51年に村内にあった南北の小学校（中学校は昭和52年）が統合され、ここ梨の木峯に開校して以来、本年度47年目になります。平成26年には、小中一貫教育学校として新たにスタートし、個の生き方や考え方を尊重する学校づくりと心と体をひらいて学ぶ授業づくりを通して、自律した学習者を育むことを目指して取り組んできました。

ロボットやAIの発達などに代表される科学技術の加速度的な発達やグローバル化により、10年後20年後でさえどんな社会になるか予測がつかないと言われる現代社会を生きる子どもたちには、変化にしなやかに対応していくために、生涯を通じて学び続ける力が求められています。本校では、友との対話によって自らの学びを深める「協働の学び」が、小中9年間のカリキュラムを貫いています。このカリキュラムによって、自律した学習者に必要な、自らを問い直しながら学び続ける力を育みます。

このことは、地域・保護者の皆様のご理解とご協力がなくてはできません。本校は、小中一貫教育学校のスタートと同時に学校運営協議会を設置し、地域の皆様にこの願いを共有していただき、地域の皆様との協働活動により自律した学習者を育てる学校づくりを進めているところです。協働活動では、運動会や遠足等の行事はもちろん、普段の授業中でも総合的な学習時間や生活科で展開される「美麻市民科」や「夢の時間」に、願いを共有した大勢の地域の方々に学校へ来ていただき、子どもたちの学びを支えていただいております。貴重な探究の学びが生まれています。

私たちはこれからも、美麻に通う全ての子どもたちのために、個の生き方や考え方に寄り添い尊重しながら、学びの壁を乗り越えようとする子どもたちを、地域の皆様と共に支え育んで参ります。地域・保護者の皆様、関係の皆様には様々な面でご理解とご支援を賜りますことをお願い申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

大町市立美麻小中学校
校長 中原 敏